

# 宗像市コミュニティ基本構想審議会【第2回】議事録

日時	令和6年6月21日（金）14:00～15:20		
場所	宗像市役所 北館 103A 会議室		
委員 (敬称略)	<input checked="" type="checkbox"/> (有識者) 山口 純哉 <input checked="" type="checkbox"/> (吉武) 野中 芳江 <input checked="" type="checkbox"/> (自由ヶ丘) 高見 邦雄 <input checked="" type="checkbox"/> (東郷) 尾園 馨 <input checked="" type="checkbox"/> (池野) 寺尾 悦治	<input checked="" type="checkbox"/> (市民公募) 松山 道代 <input checked="" type="checkbox"/> (赤間) 杉下 啓恵 <input checked="" type="checkbox"/> (河東) 西田 光生 <input checked="" type="checkbox"/> (日の里) 黒川 貞一郎 <input checked="" type="checkbox"/> (岬) 吉田 益美	<input checked="" type="checkbox"/> (赤間西) 中谷 光子 <input type="checkbox"/> (南郷) 釜瀬 博志 <input checked="" type="checkbox"/> (玄海) 吉野 秀治 <input type="checkbox"/> (大島) 藤島 正浩
事務局	コミュニティ協働推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 八木 <input checked="" type="checkbox"/> 高山 <input checked="" type="checkbox"/> 森 <input checked="" type="checkbox"/> 羽野 <input checked="" type="checkbox"/> 濱本 <input checked="" type="checkbox"/> 児玉		

## 1. あいさつ

山口会長あいさつ

## 2. 協議事項

- (1) 第3次コミュニティ基本構想・基本計画の将来像について  
(資料2「本文案(P22～23)」、資料3「将来像と基本理念」)

### 【質疑応答】

委員	本文案の8ページ図2-(3)-3に記載の運営委員会は条例に記載がないので記載しないでほしいです。
事務局	運営委員会という文言は条例に記載していませんが、市民参画条例(※1)の第39条の運営協議会の責務として、市民が参加しやすくするというものがあり、現状どこの運営協議会にも運営委員会が存在しています。条例にないから記載すると言われると何も書けなくなってしまいます。一般的な例として記載しています。 (※1:宗像市市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例)
委員	私の地区としては、運営委員会が必要なのか見直す時に図として記載してもらっていた方がありがたいです。
委員	運営委員会についての規定はありますか。
事務局	各運営協議会が定める規定以上のものではありません。
委員	運営委員会は役員会以外の方々に知ってもらえる良いものだと思えます。ただ、それぞれの運営協議会で運営委員会をするかしないかを決められるということですね。
事務局	骨子案の中にも「担いやすい組織を考える」ということを記載していますが、赤間のように人口が多い地区もあれば、大島のように住民の皆が顔見知りという地区もあり、運営の仕方はそれぞれ違うことは当然ですので、後々各地区で運営委員会の在り方を検討することはできます。ただし、コミュニティ協働推進課が考える運営委員会の重要性については、改めて説明が必要かと思えます。ですので、地区の皆さんだけで検討するのではなく、コミュニティ協働推進課の考えをご理解いただいたうえで、ご議論いただきたいと思います。
委員	記載する表現については事務局に少し工夫をしてもらうということで進めてもらいます。

委員	本文案16ページに福祉について記載がありますが、福祉は色々な世代の福祉があると思います。私はあえて子どものことを記載した方がいいと思いますがどうでしょうか。
事務局	本文案17ページに宗像市こども計画のことについて記載していますので、イメージに合うと思いますがいかがでしょうか。
委員	本文案17ページまで読み進めると分かりますが、16ページの表2-(4)-6を見ただけではイメージしにくいと思いました。
委員	第2次の計画と第3次の計画を比較して確認しました。第2次計画に対して第3次計画は自治会の現状と課題について多く記されていますが、その割に基本計画については自治会に関する記載が少ないと感じました。また、自治会アンケートで「取り組むべき活動」と「お金をかけている活動」ここにギャップがあると記載してありますが、自治会によっては残した方がいい活動があると思いますので、今後自治会が果たすべき役割と活動の整合性を図っていくという表現は変えた方がいいと思います。
委員	私もその表現が気になっており、一般の市民はギャップを感じていないのではないのでしょうか。また、整合性を図っていくということは、これまでの活動が間違っていたということになりますので、今までの方針を見直す時期がきたというような表現がいいのではないのでしょうか。
委員	行事が目的ではなく、行事をとおして自主防災のつながりになったりするので、何が大切かは意識の問題だと思います。
事務局	事務局の考えも同じなので、表現を検討します。
委員	本文案20ページの「行事を主体とした交流活動から、生活の中での住民同士のつながりをもとに、社会的孤立の防止や自主防災活動を主体とした「命と暮らしを守る」組織への転換が求められています。」の記載もいきなりの提案になっていますので、ここも表現を変えた方がいいと思います。
委員	自治会や運営協議会によって活動の目的や内容は様々あると思います。ちょっとしたニュアンスでとらえ方が変わってきますので、今の指摘を踏まえて事務局の方で検討をお願いします。
委員	計画を作成していくうえで、策定部会には運営協議会の事務局長が入っていますが、ほとんどの地区が高齢の方だと思います。ワークショップ等で、若い世代の意見をヒアリングした方がよいのではないのでしょうか。
事務局	若い世代の声を聴きながら、これからのことを組み立てるとするのは、手法としてその視点が入ってくると考えていました。将来像にも若い方の意見を取り入れるとなると作業が追い付いていない部分があります。
委員	地区によっては、若い方の声を聴きたくても自治会に参加されていない方が多くなっていて、聴けない現状があります。そこが問題でもあるとも思います。 防災、福祉、教育の分野で協働した取り組みが必要とありますが、骨子案に防災の部分が出てきていません。
事務局	骨子案には出していませんが、本文を記載していく中で詳細が出てきます。
委員	実際に計画を読む人は文章よりもまとめた表を見ますので、表にも記載してほしい。
委員	先ほど若い方の声を聴いた方がいいと意見が出ましたが、この件で何か意見はありませんか。

事務局	事務局からお聞きしたいのですが、地区の中で、若い世代の方からの声を聴いているという地区はありますか。
委員	私の地区では、3～40代の若い方が何人か自治会に関わっています。
委員	今日の午前中に、子育て支援関係の市民活動団体の若い方たちが、総合計画のワークショップを開催しているはずです。
委員	私の地区では、子ども大人会議をやっており、その中に大学生、高校生、3～40代の大人が入っています。
委員	この場では事務局提案の将来像で議論しますが、若い世代の方の声を聴ける地区においては、運営協議会の事務局長に意見を拾ってもらって、今後の策定部会に出していただき、我々の議論したものと齟齬や乖離が無いか確認しながら進めていくというのはどうでしょうか。
一同	(異議なし)
委員	将来像のタイトルで「参加・参画する」を「参加したくなる」という表現にしてはどうでしょうか。
委員	魅力的なコミュニティというニュアンスですね。そのご意見もいただいた上で次回議論したいと思います。
(2) 第3次コミュニティ基本構想・基本計画 基本理念及び基本計画骨子案について (資料2「本文案(P24～25)」、資料4「基本計画 骨子案」)	
【質疑応答】	
委員	骨子案の手法・検討事項について、項目ごとに誰が行うかを記載した方が意識づけになっていいのではないのでしょうか。また、具体例を記載して、何を行うかイメージしやすくしてはどうでしょうか。 もう一点、「できること」、「すべきこと」、「やりたいこと」の順で整理するのではなく、「すべきこと」「やりたいこと」を整理して、「できること」と「できないこと」に分けて考えていった方がいいのではないのでしょうか。
事務局	誰が行うかは今後記載していく予定です。行政だけではできない計画ですので、地域にご協力いただく部分も記載させていただきます。具体例についてもお示しできるものがあれば記載したいと考えています。すでに取り組みされている内容であれば、紹介として記載し、他の地区の取り組みの参考となればとも考えています。
委員	骨子案の③(1)の内容に「自治会」が2ヶ所記載されていますが、手法・検討事項に自治会に関する記載が少ないのではないのでしょうか。
委員	その内容に「自治会組織の運営の見直し」と記載がありますが、別組織なので運営協議会や行政が口出しできないのではないのでしょうか。
事務局	岬地区は他の地区とは違って、全区を束ねる組織として自治会というものが存在しています。ここで記載している自治会とは、岬地区でいう区の単位です。
委員	区という単位だとしても、別組織に変わりはないので運営に口出しはできないのではないのでしょうか。
委員	組織を見直すという表現は問題があると思いますが、役割分担を一緒に見直しましょうという

	表現であれば問題ないと思います。
委員	支援するという表現でもいいと思います。
委員	自治会の活動に参加される方がそもそも少ないのに、新たな人材を発掘は難しいと思います。そうではなくて、自治会の活動に参加される方を増やすことが大切と思うので、自治会加入率を上げる方法について考えるといったことをもっと記載したほうがいいのではないのでしょうか。
事務局	自治会の活動に参加する方の母数を増やしていくことは、我々も重要なことだと考えています。市民アンケートの結果では、コミュニティ活動に参加したことがある方が40%程度ですので、多くの方を地域の活動に取り込んで母数を上げていきたい。
委員	自治会や運営協議会、行政がやってくれるから自分が関わらなくても生活できると考えている人がたくさんいると思います。その意識改革をしていく必要があると思います。
委員	自治会加入率アップと記載した方がいいのではないのでしょうか。
事務局	これをやれば自治会加入率が上がるというものはないと考えています。地域の活動の発信や声掛けなど、色々な見直しをしていくことが、結果として自治会加入率アップにつながる部分が出てくると思います。
委員	傍観者を無くすことをしないと自治会に参加する人は増えないと思います。
委員	自治会加入率を上げるために自治会に誘われると、数合わせのために入れられている感じがして嫌になると学生が言っていました。そうではなく、役割があるからぜひ入ってよと誘って、結果として加入率が上がっていくという方がいいと思います。
委員	コミュニティ関係者という表現が適切なののでしょうか。コミュニティ関係者と住民を分けると他人事とってしまう人が減らないのではないのでしょうか。
委員	適切な表現を事務局で検討をお願いします。
委員	骨子案にコミュニティスクールでの次世代育成と記載があるが、具体的にどういったことを行うのでしょうか。
事務局	子どもたちが3, 40年後の地域の担い手になっていくので、宗像市で生まれ育ったからにはコミュニティというものをしっかり知ってほしいという思いがあります。学校と連携して地域の活動を伝えていくという意図で記載しています。地区によっては既に取り組まれているところもあります。
委員	私の地区では、小学校3年生から6年生で取り組んでおり、3年生はコミュニティについて、4年生は運営協議会の各部会について、5年生は地域の祭りの歴史について、6年生は自分が住んでいるところの自治会について学習しています。
委員	私の地区では、小学校1年生から9年生が地域の福祉や防災などについて学習しています。
委員	こういった取り組みは自治会や運営協議会が自発的に行っていますか。
委員	学校から依頼が来て、取り組んでいます。
委員	年号を和暦で記載するという市のルールがあると思いますが、可能であれば西暦も併せて記載してほしいです。

### 3. その他

(1) 今後のスケジュールについて  
(資料5「策定プロセス【R6】」)

【質疑応答】

委員	本日の会議の内容、特に資料3、4を地区の役員会等の場で情報共有してほしいとの説明でしたが、説明をする際は、市に支援してもらえますか。
事務局	役員会等での説明のご提案は審議員の方にはお願いしますが、細かい部分の説明等の要望があれば地区担当係長が対応します。
次回開催	令和6年11月29日(金) 15:30～ @宗像市役所 103A会議室